

[084_04] 法政研究表紙奥付

<https://hdl.handle.net/2324/1913981>

出版情報：法政研究. 84 (4), 2018-03-15. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：



九州大学法政学会

特別教育プログラム(一)

ロー・アンド・プラクティス講演会

二〇一七年三月二八日(火)

「売主瑕疵担保責任論の新たな展開」

講師 フェリックス・マウルチュ(フランクフルト大学)

法学部教授

二〇一七年六月一六日(金)

「国際金融と財政法秩序」

講師 片桐直人(大阪大学高等司法研究科准教授)

二〇一七年六月一九日(月)

「議員立法や憲法改正論議を支える立法補佐機構——衆議院法制局・事務局の役割」

講師 笠松珠美(衆議院憲法審査会事務局主査)

二〇一七年六月二六日(月)

「ニューヨークのストリートウェアとスニーカー文化」

講師 川村由仁夜(ニューヨーク州立ファッショング工科)

雑報

大学教授、明治大学商学部客員教授

二〇一七年二月六日(水)

「死刑事件の弁護」宮崎家族三人殺害事件の経験から」

講師 黒原智宏(福岡県弁護士会)

二〇一七年二月四日(月)

「鼎談 中国法務の最前線」

講師 萩野敦司(瓜生・糸賀法律事務所 弁護士)、

谷山久也(豊田自動車(中国) 投資有限公司法務知

財部)

二〇一七年二月一六日(土)

「ポピュリズム政治学(史)の系譜」新たなアプローチは

可能か？」

講師 吉田 徹(北海道大学大学院法学研究科教授)

共催 九州大学政治研究会

二〇一七年二月二二日(金)

「人権保障の国際化と司法のグローバル化」

講師 山元 一(慶応義塾大学法科大学院教授)

特別教育プログラム(二) LPセミナー

法学部一年生向法律入門セミナー

講師 木村真琴(福岡地方裁判所裁判官)

安武雄一郎 (弁護士)

二〇一七年一月一九日 (木)

岩田淳之 (福岡地方裁判所裁判官)

D. 2, 14, 52 pr.-1 Ulp. 1 opin.

八木大和 (弁護士)

報告者 五十君麻里子 (九州大学)

塩村広子 (福岡地方検察庁検察官)

二〇一七年二月二日 (木)

D. 2, 14, 52, 2-3 Ulp. 1 opin.

講演会

報告者 菅尾暁 (九州国際大学)

二〇一七年六月二七日 (火)

二〇一七年四月二〇日 (木)

「Stylistically-defined Japanese Subcultures」

講演「テキストとコンテキスト：日常生活の法碑文」

講師 川村由仁夜 (ニューヨーク州立フアッション工科

演者 マリア・テレザ・ヒメネス・カンデラ (バ

大学教授、明治大学商学部客員教授)

ルセロナ自治大学教授)

二〇一七年一〇月二〇日 (金)

二〇一七年五月一日 (木)

「持続可能な開発目標 (SDGs) 中の社会開発目標」

D. 2, 14, 53 Ulp. 4 opin.

講師 吾郷眞一 (立命館大学法学部教授、九州大学名誉

報告者 梁田史郎 (九州大学)

教授)

二〇一七年五月二五日 (木)

D. 2, 14, 54 Scaev. not.ad Iul. 22 dig.

ローマ法研究会

報告者 五十君麻里子 (九州大学)

二〇一七年一月二日 (木)

二〇一七年六月八日 (木)

D. 2, 14, 55 Iul. 35 dig.

「Scaev.D.33, 1, 13 条件成就擬制参照法文の意義」

報告者 菅尾暁 (九州国際大学)

報告者 西村重雄 (九州大学名誉教授)

二〇一七年六月二二日 (木)

D. 2, 14, 56 Iul. 6 ad Minc.

報告者 梁田史郎 (九州大学)

二〇一七年七月二〇日 (木)

D. 2, 14, 57 Flor. 8 Inst.

報告者 五十君麻里子 (九州大学)

二〇一七年一〇月五日 (木)

D. 2, 14, 58 Ner. 3 membr.

報告者 菅尾暁 (九州国際大学)

二〇一七年一〇月二六日 (木)

D. 2, 14, 59 Paul. 3 reg.

報告者 梁田史郎 (九州大学)

二〇一七年一月九日 (木)

D. 2, 14, 60 Papir. 8 Const.

報告者 五十君麻里子 (九州大学)

二〇一七年一月一六日 (木)

D. 2, 14, 61 Pomp. 9 ad Sab.

報告者 菅尾暁 (九州国際大学)

二〇一七年一月七日 (木)

D. 2, 14, 62 Furius 1 ad ed.

報告者 梁田史郎 (九州大学)

サヴィニー研究会

二〇一七年一月二八日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二三三節

報告者 赤松秀岳 (九州大学)

二〇一七年二月一八日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二三四節前半

報告者 上村一則 (久留米大学)

二〇一七年四月二二日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二三四節後半

報告者 遠藤歩 (九州大学)

二〇一七年五月二七日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二三五節

報告者 野田龍一 (福岡大学)・三宮希 (福岡大学)

二〇一七年六月一七日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二三六節

報告者 大久保憲章 (広島修道大学)

二〇一七年九月一六日 (土)

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二三七節

報告者 梁田史郎 (九州大学)

二〇一七年一〇月二八日（土）

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二三八節

報告者 菅尾暁（九州国際大学）

二〇一七年一月二五日（土）

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二三九節

報告者 田中教雄（九州大学）

二〇一七年二月一六日（土）

サヴィニー『現代ローマ法体系』第五卷第二四〇節

報告者 五十君麻里子（九州大学）

九州公法判例研究会

二〇一六年度冬期（二〇一七年一月二日）

「フランスにおける自然災害防止のための公用収用制度」
福重 さと子（北九州市立大学法学部准教授）

「現代ドイツ公法学の文献学的・社会史的検討
——ディートリッヒ・イエッシュ「再読」をめぐって」

高田 篤（大阪大学大学院法学研究科教授）

二〇一七年度春期（二〇一七年四月二日）

「ドイツ連邦憲法裁判所の判例における「民主的正統

化」論

田代 滉貴（九州大学大学院法学府博士課程）

「暴力団員をめぐる人権問題——西宮市公営住宅事件（最判平成二七年三月二七日民集九六卷二四一九頁）を契機に」

守谷 賢輔（福岡大学法学部准教授）

二〇一七年度夏期（二〇一七年七月一日）

「熊本地震における避難所とその在り方について——帯山西小学校と熊本刑務所の比較を通して」
岡田 行雄（熊本大学法学部教授）

「大規模災害と復興支援策」
大脇 成昭（熊本大学法学部准教授）

二〇一七年度秋期（一）（二〇一七年九月九日）

「放送の自由——番組編集準則の再評価」
西土 彰一郎（成城大学法学部教授）

「表現、情報と統治——嫌悪感、萎縮と侵害の間」
大日方 信春（熊本大学法学部教授）

「放送事業と行政——法治主義の一断面」
井上 禎男（琉球大学法科大学院教授）

二〇一七年度秋期（二）（二〇一七年十一月二日）

「自治体の「内部統制」について——近年の地方自治法

改正を素材として」

原島 良成（熊本大学法科大学院准教授）

「立法裁量の『判断過程統制』論の再構成」

山本 真敬（下関市立大学経済学部講師）

社会法研究会

第四五一回 二〇一七年一月七日（土） 九州大学

「年齢による区別と社会保障」～遺族補償年金受給の年齢要件を中心に～」

阿部和光（久留米大学）

「中労委命令研究 廣川書店事件・中労委命令平二八・

三・二―組合員の定年後再雇用に関する団交拒否と不利

益取扱い・支配介入」

山下昇（九州大学）

第四五二回 二〇一七年二月四日（土） 九州大学

「フランス『労働改革法』の成立とその意義―労働法の

「再構築」始まる―」

野田進（九州大学名誉教授）、阿部理香（九州大学

大学院）、浜田美羽（九州大学大学院）

第四五三回 二〇一七年三月四日（土） 九州大学

「台湾の新集団的労働法における『複数組合主義』の法的争点」

張智程（京都大学）

「台湾における居宅介護労働者の労働条件保護―家事用人への労働法の適用のあり方をめぐる議論の検討をとおして」

根岸忠（高知県立大学）

第四五四回 二〇一七年四月八日（土） 九州大学

シンポジウム「現代の生活保護の法的検討」

「報告趣旨の説明」

尾藤廣喜（京都弁護士会）

「生活保護法改正と申請権保障」

小久保哲郎（大阪弁護士会）

「外国人の生活保護受給権」

奥貫妃文（相模女子大学）

「生活保護基準と行政裁量」

豊島明子（南山大学）

「稼働能力活用規定をめぐる法的問題」

吉永純（花園大学）

第四五五回 二〇一七年五月十三日(土) 九州大学

「労働法における集団的規範の段階性の原型―労働協約の労働条件設定規範としての歴史の一側面」

新屋敷恵美子(九州大学)

「男女の雇用平等とリリー・レッドベターの闘い」

中窪裕也(一橋大学)

「EU域内での人の自由移動と社会給付の受給」

松本勝明(熊本学園大学)

第四五六回 二〇一七年六月三日(土) 九州大学

「フランス一九五〇年労使関係法の展開過程―二元的代表システムの確立とその後の変容―」

野田進(九州大学名誉教授)

「中国における有期労働契約の無期転換制度―労働契約法改正の動きを踏まえて」

龔敏(久留米大学)

「子ども・子育て支援法三三三一条一項の私法上の効果」

山下慎一(福岡大学)

第四五七回 二〇一七年七月一日(土) 九州大学

「障害者の就労支援と所得保障」

廣田久美子(宮崎産業経営大学)

「ドイツにおける労働時間短縮請求権と労働契約の変

更」

岡本舞子(九州大学大学院)

二〇一七年社会法研究会夏季合宿 二〇一七年八月二十九

日(火)、三十日(水) 西南学院大学

「雇用社会の変容と労働契約終了の法理―三つの視

角」

野田進(九州大学名誉教授)

「雇用終了のルールの明確化とその紛争解決制度の課

題」

山下昇(九州大学)

「労働者の適性評価と雇用終了法理―AI時代の幕開けに際して」

龔敏(久留米大学)

「雇用終了における人選基準法理」

柳澤武(名城大学)

「雇用終了過程における説明・協議義務」

所浩代(福岡大学)

「労働契約終了と合意」

川口美貴(関西大学)

第四五八回 二〇一七年九月三十日(土) 九州大学

「社会保障法と労働法の関係性・再考―その論点整理―」

九州大学産業法研究会

良永彌太郎（熊本大学名誉教授）

「フランス『雇用保持発展協定』のインパクト―協約と労働契約の新たな関係―」

野田進（九州大学名誉教授）

「中国における労働契約の書面化とその実効性確保の手段」

山下昇（九州大学）

第四五九回 二〇一七年十一月三日（金） 九州大学

「ヨーロッパ労働市場に対応した失業給付の調整」

松本勝明（熊本学園大学）

「公務員の法的地位に関する日独比較法研究」

早津裕貴（名古屋大学）

第四六〇回 二〇一七年十二月二日（土） 熊本学園大学

「割増賃金を年俸に含める合意と労基法三七条」

岡本舞子（九州大学大学院）

「御礼奉公、あるいは事業主がする若年者への修学就業

支援の法的課題―紛争解決の実態を考えたつ―」

馬場民生（弁護士）、紺屋博昭（熊本大学）

「ドイツの人事評価」

藤内和公（岡山大学名誉教授）

第六七二回例会 平成二九年四月一日（土）

（判例研究）

東京地判平成二七年一〇月二八日判時二三一三三〇九

頁

「株主総会の招集に際し、株主への監査報告の提供がなかったとして、株主総会決議の取消しが認められた事例」

報告者 横尾 亘（西南学院大学）

（判例研究）

大阪地判平成二七年一〇月二三日判時二三〇三三〇一〇一

頁

「自動車保険契約における酒気帯び運転免責条項の解釈」

報告者 遠山 聡（熊本大学）

第六七三回例会 平成二九年五月二〇日（土）

（判例研究）

仙台地決平成二六年三月二六日金判一四四一五七頁

「支配権の異動を生じさせる新株発行の不正発行該当

性

報告者 張 笑男(長崎大学)

(研究報告)

「EU航空旅客の権利規則五条三項所定の『特別の事情』に基づく航空運送人の免責の可否—EUおよびドイツの判例・裁判例を素材として—」

報告者 久保 寛展(福岡大学)

第六七四回例会 ※平成二九年六月二四日(土)・二五日(日)の九州法学会に振替え

報告者 前越 俊之(福岡大学)

報告者 藤田 真樹(新潟経営大学)

第六七五回例会 平成二九年七月一五日(土)

(判例研究)

大阪高判平成二七年一〇月二九日金判一四八一号二八頁

(原審 神戸地判平成二六年一〇月一六日金判一四五六号

一五頁)

「MBOにおける取締役の会社に対する責任について」

報告者 荒 達也(九州大学)

(判例研究)

東京地判平成二九年一月一九日金判一五一二号四二頁

「代表取締役の利益相反行為を理由とする会社の損害賠償

償責任

報告者 高木 康衣(熊本大学)

第六七六回例会 平成二九年九月一六日(土)

(判例研究)

最判平成二八年三月四日金判一四八九号一八頁

「自動車降車時の受傷と搭乗者傷害特約における運行起

因性」

報告者 嘉村 雄司(島根大学)

(研究報告)

大阪高判平成二八年二月二五日金判一四九〇号三四頁

「株主総会目的事項の柔軟性に関する若干の検討」

報告者 田中 慎一(西南学院大学)

第六七七回例会 平成二九年一〇月二一日(土)

(研究報告)

「国際商事紛争の解決方法について——日中台の法規定

と法実務——」

報告者 李 黎明(福岡大学)

(判例研究)

最判平成二九年二月二一日金判一五一四号八頁

「取締役会設置会社である非公開会社における、取締役

会の決議によるほか株主総会の決議によっても代表取締

役を定めることができる旨の定款の定め効力」

報告者 横尾 亘（西南学院大学）

第六七八回例会 平成二十九年一月一八日（土）

（研究報告）

「商法（運送・海商関係）改正法案について」

報告者 佐野 誠（福岡大学）

（判例研究）

松山地裁西条支判平成二八年一月一日消費者法ニュー

ス一一〇号二六〇頁

「モデルチェンジの予定の有無に係る事実が消費者契約法四条四項一号に定める重要事項に該当するとされた事例」

例」

報告者 泉 日出男（愛媛大学）

第六七九回例会 平成二十九年一月一六日（土）

（判例研究）

東京高判平成二八年三月二八日金判一四九一号一六頁

「会計帳簿・資料閲覧請求における請求理由の具体性と閲覧範囲の限定」

報告者 久保田 光昭（琉球大学）

（判例研究）

東京地判平成二七年七月一三日金判一四八〇号五一頁

「『作っていないから見せられません』の正当性を問う

―計算書類等の作成義務懈怠と株主の閲覧等請求」

報告者 千手 崇史（福岡工業大学）

第六八〇回例会 平成三〇年一月二〇日（土）

（研究報告）

「詐欺的会社分割と債権法改正」

報告者 牧 真理子（大分大学）

（研究報告）

「取締役の監視義務に関する若干の考察」

報告者 板垣 太郎（長崎県立大学）

民法法研究会

第二七四回 二〇一七年一月二日（土）

（研究報告）

報告者 高橋 眞（大阪市立大学法学研究科教授）

「民法の抽象性について―基本概念・規範概念・説明概念―」

第二七五回 二〇一七年三月十一日（土）

（研究報告）

第一報告者 小川富之（福岡大学法科大学院教授）

「離別時・離婚後の子の最善の利益について——100日
面会交流事件（千葉家庭裁判所松戸支部判決・東京高等
裁判所判決）」を題材にして」

第二報告者 鬼頭祐紀（九州大学大学院法学府博士

後期課程）

「相殺の担保的機能」に関する韓国法」

第二七六回 二〇一七年十一月十八日（土）

（研究報告）

報告者 鬼頭祐紀（岡山商科大学法学部法学科助

教）

「相殺の担保的機能」に関する韓国法の検討」

民事手続研究会

平成二九年一月二一日（土）

時効中断の客観的範囲

浅野 雄太（九州大学）

訴訟信託禁止規定と隣接諸制度

堀野 出（九州大学）

平成二九年三月一八日（土）

既判力とその補完法理に関する一考察

川嶋 隆憲（熊本大学）

法人でない社団の当事者適格における固有適格構成の理
論的基礎

松原 弘信（熊本大学）

平成二九年六月二〇日（土）

民事訴訟とADRの目的論について

上田 竹志（九州大学）

固有必要的共同訴訟における訴えの一部取下げと脱退

鶴田 滋（大阪市立大学）

平成二九年七月一五日（土）

法人破産手続における破産財団からの放棄

黒木 和彰（弁護士）

民事訴訟における争点整理手続の充実に向けた取組につ
いて

石本 恵（弁護士）

平成二九年一月二二日（水）

破産法三四条二項・三項二号但書と固定主義 —— 各種

保険料の破産財団帰属性を素材として ——

浅野 雄太（九州大学）

福岡民事訴訟判例研究会

【判例研究】

平成二九年一月二〇日（金）

間接占有者に対する建物退去土地明渡請求権を表示した債務名義について間接強制決定をすることはできないとされた事例（最一小判平成二七年六月三日金判一四七一号二〇頁）

池田 愛（熊本大学）

平成二九年二月二四日（金）

ある議案を否決する株主総会等の決議の取消しを請求する訴えの適否（最一小判平成二八年三月四日 民集七〇巻三号八二七頁）

大塚 真史（福岡地裁）

平成二九年五月二六日（金）

弁護士法二三条の二第二項に基づく照会に対する報告を拒絶する行為と同照会をした弁護士会に対する不法行為の成否（最一小判平成二八年一〇月一八日民集七〇巻七号一七二五頁）

瀨崎 録（西南学院大学）

平成二九年六月一六日（金）

裁判官の釈明権の行使の限界について（神戸地判平二八年二月二三日判時二三一七号一一一頁）

木村 真琴（福岡地裁）

平成二九年七月一四日（金）

外国国家が発行した円建て債券に係る償還等請求訴訟につき、当該債券の管理会社が任意的訴訟担当の要件を満たすものとして原告適格を有するとされた事例（最一小判平成二八年六月二日民集七〇巻五号一一五七頁）

園田 賢治（同志社大学）

平成二九年九月一五日（金）

弁護士法七二条に違反して認定司法書士が締結した和解契約の効力（最一小判平成二九年七月二四日 民集七一巻六号九六九頁）

横山 寛（福岡地裁）

平成二九年一〇月二〇日（金）

暴言と対物暴力を主とするDV高葛藤事案で、監護親がPTSDで通院を要し子らが心因反応を発症している場合に、面会交流への協力で監護親の負担を増大させることが子らへ悪影響を及ぼすことを考慮して、直接交流を認めず、限定的な間接交流に止めた事例（東京高決平成

二七年六月一二日判時二二六六号五四頁

安井 英俊 (福岡大学)

【合同判例研究会】

平成二九年二月一日 (金)

マンション管理組合の当事者適格に関する最近の最高裁判例の検討 (最三小判平成二三年二月二五日判時二一一〇号四〇頁、最二小判平成二七年九月一八日民集六九卷六号一七一頁)

堀野 出 (九州大学)

九州国際私法研究会

第四四回九州国際私法研究会 (二〇一七年一月二〇日)

「特許に関する国際的国内的法的枠組みに関する若干の問題提起——日本の二、三の裁判例をもとにして」

報告者 原田央 (東京大学准教授)

「ILA知財と国際私法ガイドライン第一草案に関する

意見聴取」

報告者 河野俊行 (九州大学教授)

政治研究会

二〇一七年四月十五日 (土)

『政治研究』第六四号合評会・総会

二〇一七年五月二〇日 (土)

「地域、国、世界に対する責任や義務をいかに教えるべきか——主権者教育における保守主義的側面への着目」

報告者 施光恒 (九州大学大学院比較社会文化研究

院准教授)

「グローバル化とは何か——ルーヴェン遊学を振り返って」

報告者 岡崎晴輝 (九州大学大学院法学研究院教

授・放送大学客員教授)

二〇一七年七月十五日 (土)

「多様性の理解に向けたシティズンシップ教育——まちづくり学習の視点から」

報告者 徳永翔太 (九州大学大学院地球社会統合科

学府博士後期課程)

「ヒュームの「カントリー」論——自由を維持する政治的主体」

報告者 鎌田厚志（九州大学大学院法学研究院協力
研究員）

二〇一七年一〇月二二日（土）

「安保改定期における政府の集団的自衛権見解の形成過
程」

報告者 浜砂孝弘（九州大学大学院法学府修士課
程）

「リベラル・エデュケーションと政治哲学―レオ・シュ
トラウスの政治哲学における教育の位置」

報告者 松尾哲也（島根県立大学総合政策学部専任
講師）

二〇一七年一月一八日（土）

「第二次安倍政権以降における労働政治分析」

報告者 小幡あゆみ（九州大学大学院法学府修士課
程）

「不審者・敵対性・デモクラシー」

報告者 山本圭（立命館大学法学部准教授）

二〇一七年二月一六日（土）

「吉野作造の選挙制度論の再検討」

報告者 童沸宇（九州大学大学院地球社会統合科学
府修士課程）

「ポピュリズム政治学（史）の系譜―新たなアプローチ
は可能か？」

報告者 吉田徹（北海道大学法学研究科教授・フラ

ンス国立社会科学高等研究院リサーチアシエン
ト・シノドス国際社会動向研究所理事）